真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月15日

事務事業名	男女共同参画推進事業	担当課・係	総合政策部　市民協働推進室　市民協働推進室
政策名　No	6　「魅力づくり」～市民の力アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	3　男女共同参画社会の実現		

	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
成果指標	男女が平等になっていると感じる者の割合	%	20.8					
	男女の固定的役割分担意識が解消されていると感じている市民の割合	%	57.8					

事業内容

平成11年度に成立した男女共同参画社会基本法に基づき、平成12年度に「真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定。
・推進体制：男女共同参画社会づくり市民会議（年2回開催し、計画の推進を図る）、男女共同参画社会づくり計画推進会議（計画推進のための庁内連絡調整を図る）のほか、男女共同参画審議会（市民会議で策定した計画や市長の諮問に応じて審議する）
平成22年度は市民会議を4回開催し、真岡市男女共同参画推進条例を制定。条例の制定に伴い、市民会議は附属機関からはずれ、審議会が附属機関となった。
平成24年3月「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定。
平成29年3月「第3次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定。男女共同参画社会づくり市民会議が審議会へ公募委員を増やすことにより廃止となった。
令和4年3月「第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画」を策定。同年9月「性の多様性を尊重するための職員ガイドライン」を策定。
令和6年1月　市民向け発行物におけるイラスト・写真の見直し。同年2月　市行政文書における性別記載欄の見直し。
令和7年2月　真岡市男女共同参画推進事業者表彰取組項目の見直し。

前年度の課題（Check）

【所管課】
・庁内推進会議における実効性ある協議内容とするための協議内容の精査。
・魅力ある講演会やセミナーの開催。座談会の開催を促すＰＲ強化。
・県事業である女性教育指導者研修への参加を促すＰＲ強化。
【全庁】
・男女共同参画社会づくりをさらに推進していくため、現行の4次計画の取り組みでは不十分な事業を把握し、次期計画に反映させる。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
○第４次真岡市男女共同参画社会づくり計画の推進
・庁内推進会議（1回）、真岡市男女共同参画審議会（２回）を開催し、第4次計画の各課令和6年度の振り返りを実施。
・委員会・審議会等への積極的な女性の登用を図るため、男女比を考慮した構成となるよう、現状把握の調査及び県内他市の実態調査を実施し、役職を限定しない登用について担当課へ働きかけを行う。
・真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づき、各事業の実施（男性の家事促進料理教室：1回、男女共同参画推進社会づくり講演会：1回、男女共同参画セミナー：1回、女性異業種交流会：1回、子育て世代交流会：3回、女子小中学生の理科実験教室：1回、女性団体活動支援、男女共同参画情報紙US（自治会加入世帯配布）の発行、座談会での固定的性別役割分担意識解消および女性活躍推進の醸成、男女共同参画推進事業者表彰、家事シェアエピソード募集及び表彰
○第５次真岡市男女共同参画社会づくり計画策定に着手。（令和7・8年度2カ年で策定）
・次期計画を実効性あるものとするため、事業所調査や市民意識調査等を実施し、課題の洗い出しや分析を行う。

【2】結果と課題（Check）
○真岡市男女共同参画社会づくり計画に基づく各事業の中の「家事シェアエピソード」については、市民に夫婦で家事を実施する「とも家事」が浸透してきていることから、周知されていない「性別による無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）」の理解促進へシフトし、アンコンシャスバイアスの解消に向けた事業内容に変更することを検討する。

○第5次真岡市男女共同参画社会づくり計画策定に着手男女共同参画社会づくりをさらに推進していくため、現行の4次計画の取り組みでは不十分な事業を把握し、次期計画に反映させる。次期計画を実効性あるものとするため、アンケート調査等を実施し、課題の洗い出しや分析を行う。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・所管事業をさらに推進するため、あらゆる広報媒体を用いたＰＲを強化するとともに、男女共同参画推進事業を積極的に推進していく。
・「家事シェアエピソード」については、「性別による無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）エピソード」へ変更し、市民の男女平等意識の向上と性の多様性に関する理解促進につなげていく。
・５期計画を実効性あるものとするため、R7年度に実施したアンケート調査結果を反映し真岡市の実情に合う計画を策定する。
・各課で実施している現状の男女共同参画に関する事業内容を、男女共同の視点で捉えた際の課題や改善点を把握するなど、評価検証を行う。

(2) 長期的な計画で検討すること
・委員会や審議会等への積極的な女性の登用を図るため、男女比を考慮した構成となるよう、役職を限定しない登用について、引き続き担当課へ働きかけを行う。